

大問一

問一 ア 千 イ 万

問二 ① 完結 ② 誤差 ③ 簡単 ④ おおうなばら ⑤ 領域

問三

第三者が舞台を整えそこで競技するスポーツと違い、登山はその時の判断と成り行き  
の連動作業に自由を感じる旅のようところが魅力である。世界一のエベレストだから登るのではなく、  
自分の命を含めた状況判断でルートや目指す山を決める自由を持ってほしい。

問四

冒険の本質は、自然との関係性を構築し、自然の中で生きることによって自己存在確認できることで、そこに  
魅力がある。しかし、GPSを使うと自然へ関与する部分が極端に減り、関係が薄くなり、  
自己存在確認の魅力がなくなり、冒険の意義が大幅に失われるということ。

問五

連日、北極の厳しい環境に肉体的には追い詰められ、恐怖という負の感情を通じて  
自己存在確認が得られるはずだったが、GPSを使うことで、楽に、安全になったものの、  
北極の自然と自分がかみあう感覚が無く、自己存在確認の魅力が十分に味わえないこと。

大問二

問一 1ア 2オ

問二 さえずり

問三

歌を書き上げ、緊張から解放され落ち着いていたところに、「書けた」と声に出したことで、手本を見  
なくても文字が頭の中に浮かぶほど文字を覚えることができたという強い実感に伴って沸き起こった  
喜びであり、また、自分だけのものとして心の中に秘めておきたい喜びである。

問四

愛しい人々が三朝書に込めた、見知らぬ人々の中で暮らすシューインの不安を打ち消す、幸せを願う思  
いの強さ。

問五

自分は違う部族の家に嫁いだことで、辛く苦しいこともあったが、歌に合わせて  
ニューシュを書く練習をするなど努力して、その部族の習慣になじんでいった。  
チャオチャオも初めて会った人たちとの暮らしは、辛く苦しいだろうが、歌に合わせて  
ニューシュを書く練習したように努力して新しい環境になじみ、幸せになってほしいと心から願っ  
ているから。